

ティンウィンです。

私は、亡き父が約 1 世紀前に生まれたビルマの文化都市マンダレーで生まれ育ちました。私の町を襲った地震は、ビルだけでなく人びと深い傷跡を残しました。さらに破壊そのものより悲劇的なことは、軍の圧政下での不正行為です。軍政は、国際的に人道的な支援を最も必要としている人びとに対して支援する 8 つの援助団体をブロックしています。ほとんどの組織は、政府のコントロールチャンネルを通ることを余儀なくされており、その結果、援助の多くは盗まれたり、悪用されたり、あるいは軍政に反対する人びとがいる地域では援助すらありません。なぜなら、将軍や協力者が自分たちの利益のために支援物資を横流しし、すでにこの地域の災害で壊滅的な打撃を受けている罪のない人びとを置き去りにしているからです。

これは自然災害ではなく、人の手による不正行為です。

私は、日本に住む難民として辛い経験をしてきましたが、信じられないような連帯も目の当たりにしています。ZENKO は、一貫して声をあげ、発言し、真の思いやりをもって手を差し伸べてくれる数少ない賢者の 1 つです。

私は、この 1 年間光栄にも ZENKO のイベントに参加することができましたし、あなた方は日本のビルマコミュニティと多くの有意義なパートナーシップを築いてきました。

昨年、私は不当な解雇を受けましたが、直ちに私の支援に立ち上がってくれたのは、ZENKO と福永先生でした。

あなた方は支え、必要なときに力を与えてくれました。そして今、再び、あなたはビルマの人々とともに立っています。私は、心の底からあなた方の勇気、あなた方の思いやりに感謝します。

そして、思い出しましょう。軍事的行動の人間的、人類的な恥ずかしさを。

私たちは最も暗い闇の中にあっても、国境を越えて、闘争を結んで、共に歩み続けましょう。

ありがとうございました。

2025 年 4 月 20 日

ティンウィン